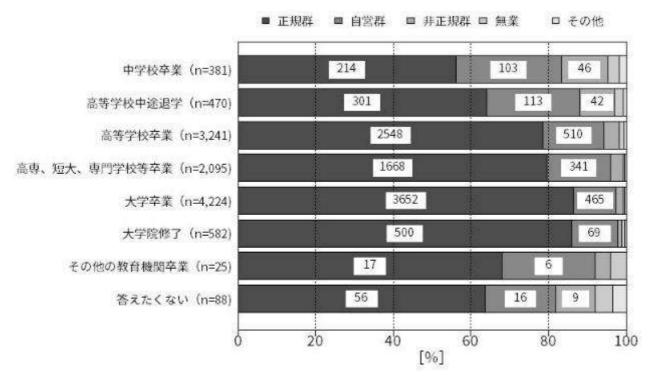
<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

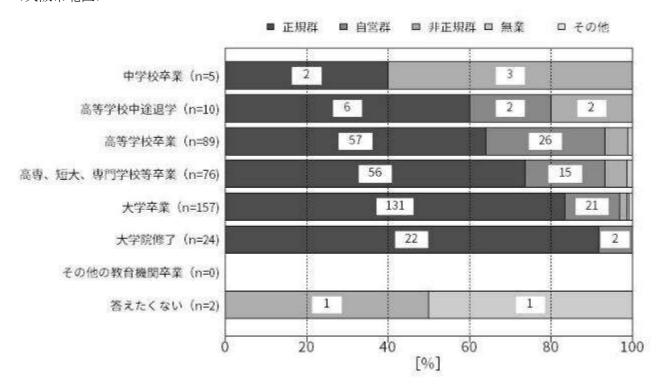
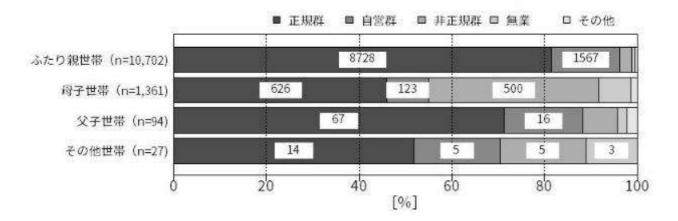


図 113. 父親の最終学歴別に見た、就労状況

中学校卒業では、正規群の割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、正規群の割合が高く、非正規群の割合が低くなる。

世帯構成別に見た、就労状況(問1×問8)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

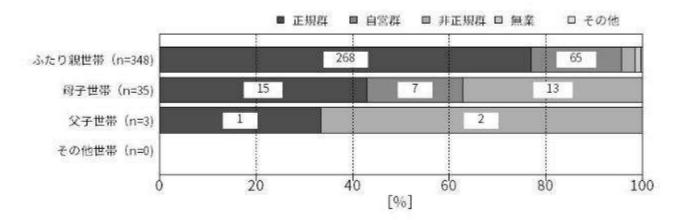
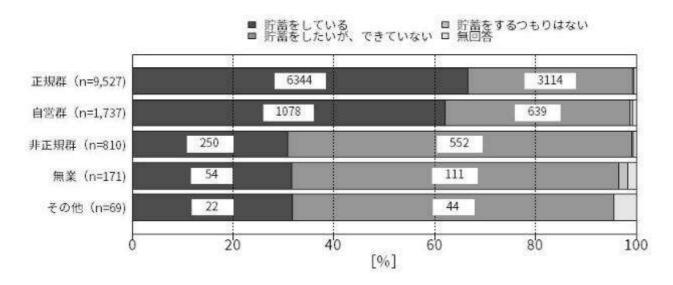


図 114. 世帯構成別に見た、就労状況

ふたり親世帯では、正規群の割合が高かった。母子世帯、父子世帯では、正規群の割合がそれぞれ 42.9%、33.3%であった。

就労状況別に見た、子どものための貯蓄(問8×問5-3)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

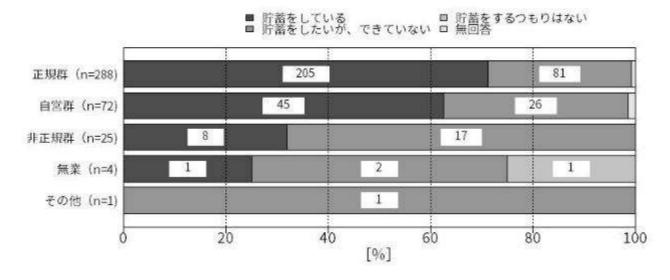
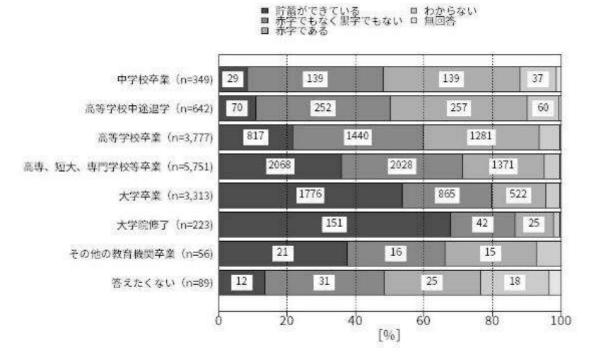


図 115. 就労状況別に見た、子どものための貯蓄

正規群では貯蓄ができている割合が高く、非正規群・無業では貯蓄できている割合が低くなる傾向にあり、それぞれ32.0%、25.0%であった。

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

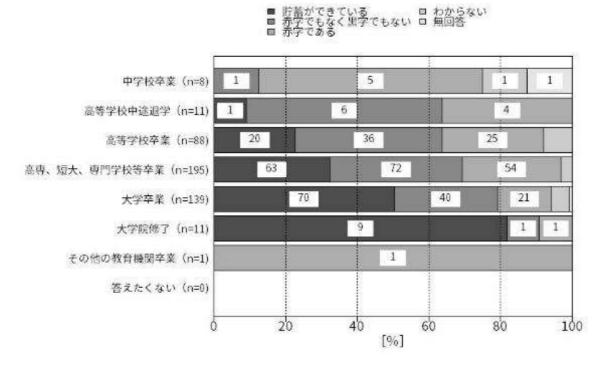
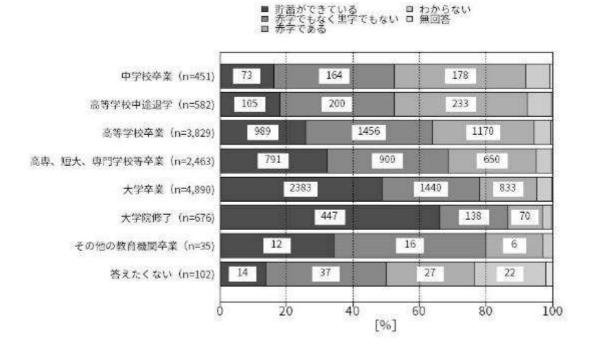


図 116. 母親の最終学歴別に見た、家計状況

中学校卒業、高等学校中途退学では、貯蓄ができている割合が低い傾向にあった。学歴が高いほど、 貯蓄ができている割合が高く、赤字である割合が低くなる。

父親の最終学歴別に見た、家計状況(問7×問5-1)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

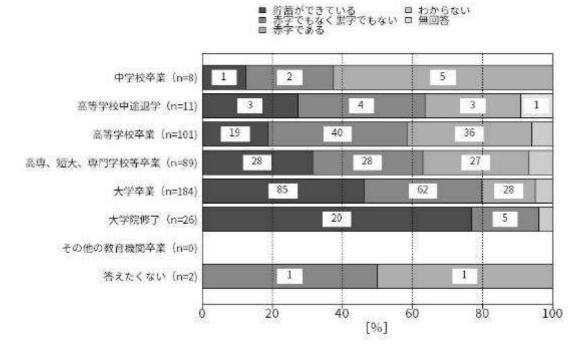
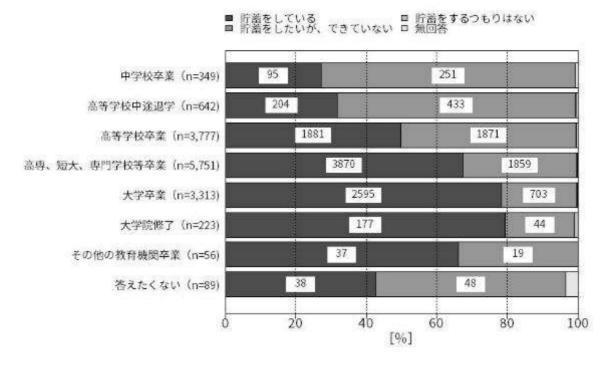


図 117. 父親の最終学歴別に見た、家計状況

中学校卒業、高等学校中途退学では、貯蓄ができている割合が低い傾向にあった。学歴が高いほど、 貯蓄ができている割合が高く、赤字である割合が低くなる。

母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄(問7×問5-3)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

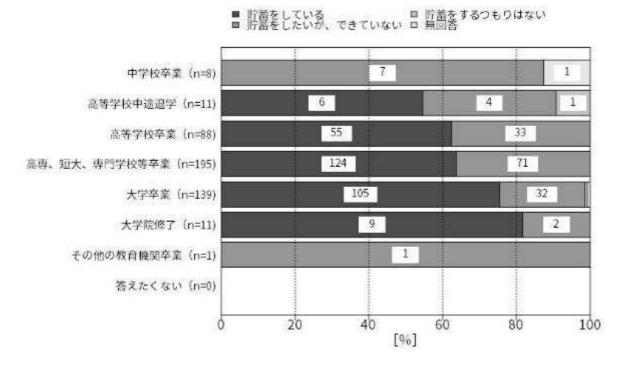
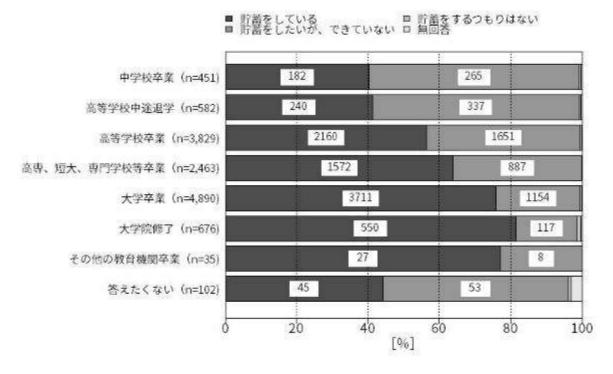


図 118. 母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

中学校卒業、高等学校中途退学では、子どものための貯蓄ができている割合が少ない傾向にあった。 学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高くなる。

父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄(問7×問5-3)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

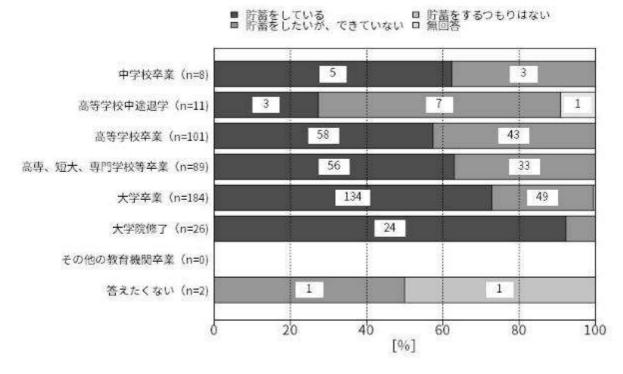


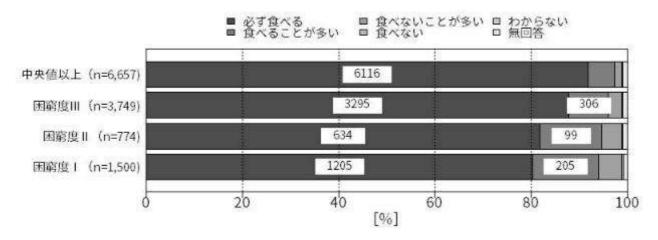
図 119. 父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

中学校卒業、高等学校中途退学では、子どものために貯蓄ができている割合が少ない傾向にあった。 学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高くなる。

3-3. 健康

困窮度別に見た、朝食の頻度(問17)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

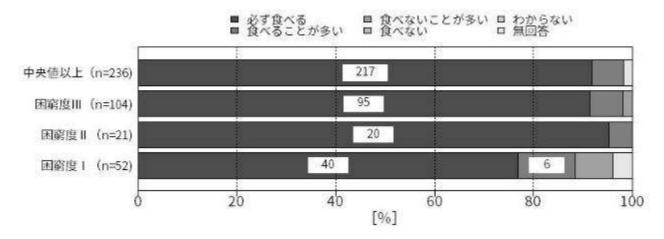
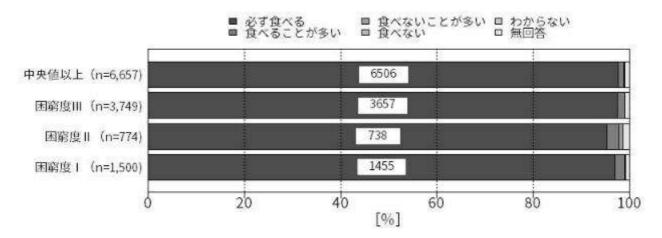


図 120. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、「必ず食べる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度 I 群においては 76.9% となっている。

困窮度別に見た、夕食の頻度(問20)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

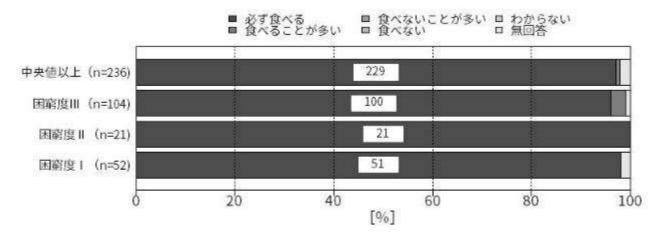
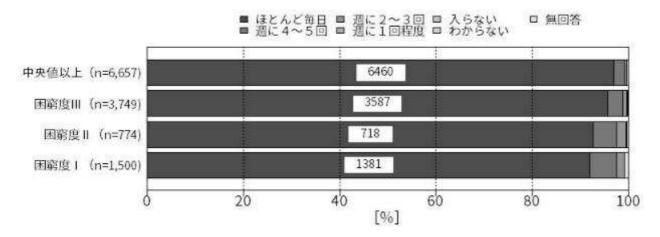


図 121. 困窮度別に見た、夕食の頻度

困窮度によって、大きな差は見られなかった。いずれも96%以上である。

困窮度別に見た、入浴頻度(問23)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

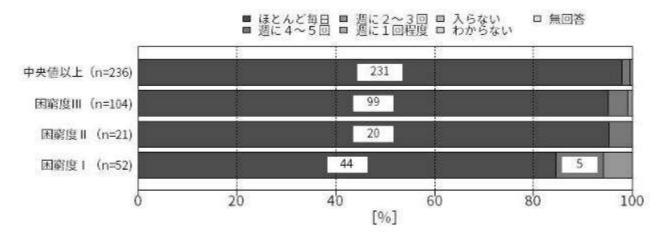
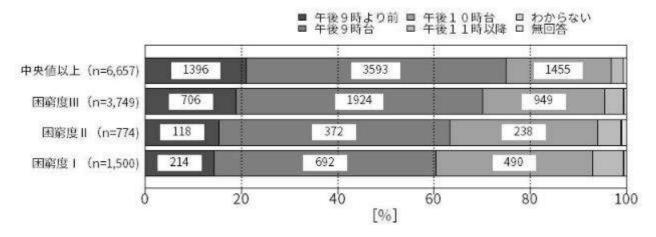


図 122. 困窮度別に見た、入浴頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、お風呂にほとんど毎日入る頻度が低くなる傾向にあり、困窮度 I 群においては 84.6% となっている。

困窮度別に見た、就寝時間(問16)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

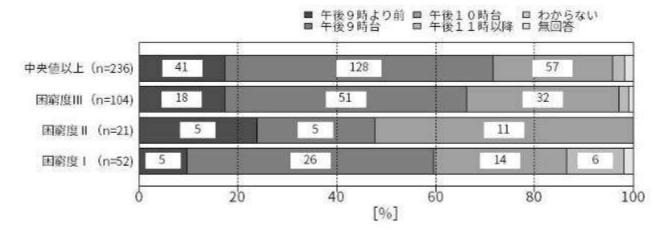
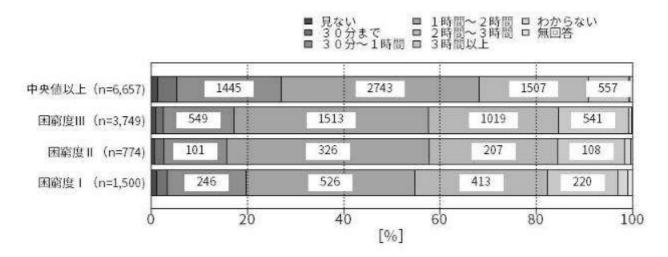


図 123. 困窮度別に見た、就寝時間

困窮度が厳しくなるにしたがって、就寝時間がやや遅くなる傾向にあった。、困窮度 I 群においては午後 1 0 時台が 26.9%、午後 1 1 時台が 11.5% となっている。

困窮度別に見た、テレビ視聴時間(問24)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

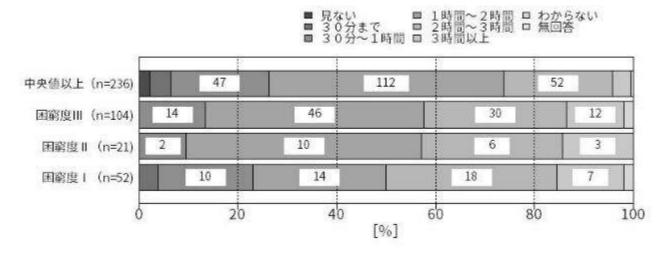
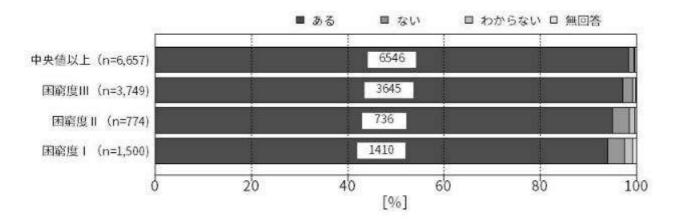


図 124. 困窮度別に見た、テレビ視聴時間

困窮度が厳しくなるにしたがって、視聴時間が長くなる傾向にあった。中央値以上群では「見ない」 \sim 「1時間 \sim 2時間」の回答を選択した割合が高く、約7割となっている。

困窮度別に見た、歯磨きの習慣(問25)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

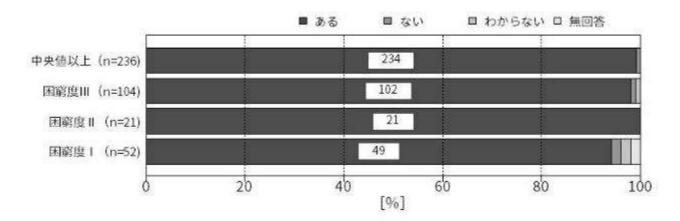
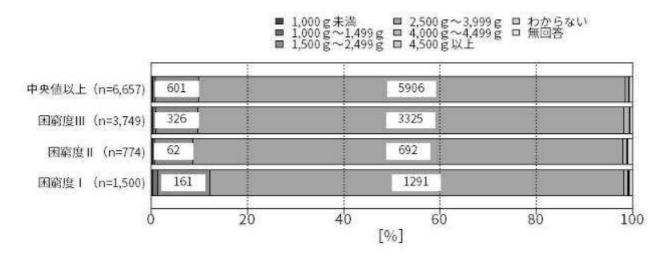


図 125. 困窮度別に見た、歯磨きの習慣

困窮度が厳しくなるにしたがって、歯磨きの習慣が「ある」の割合が低くなる傾向にあった。困窮度 I 群では 94.2%となっている。

困窮度別に見た、出生時体重(問11)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

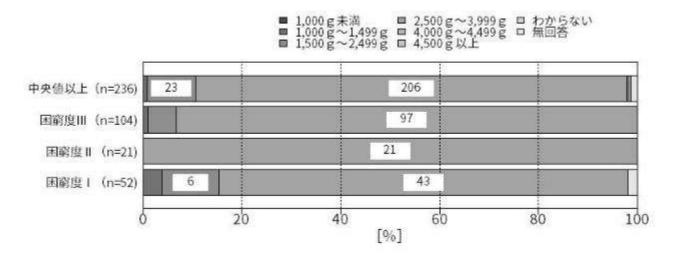
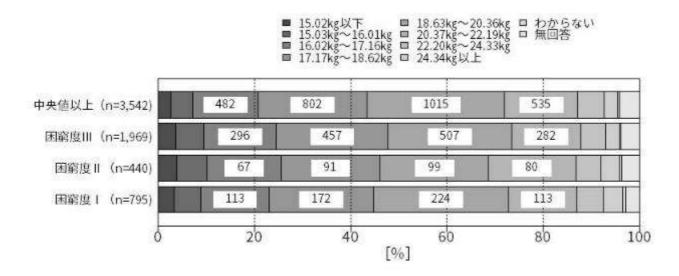


図 126. 困窮度別に見た、出生時体重

困窮度が厳しくなるにしたがって、出生時の体重が低くなる傾向にあった。困窮度 I 群において 「1,000 g ~1,499 g 」「1,500 g ~2,499 g 」と回答した割合は合計 15.3%であった。

困窮度別に見た、現在の体重(問13-1) <男子>

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

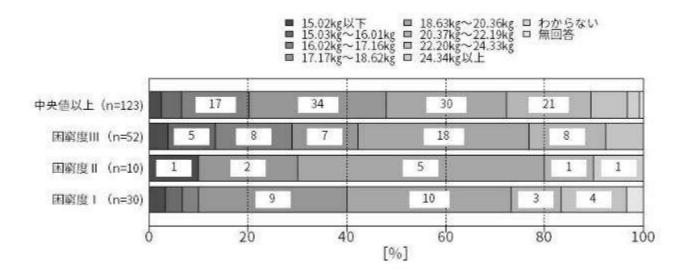
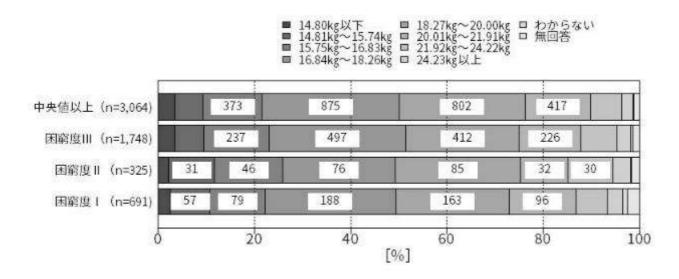


図 127. 困窮度別に見た、現在の体重<男子>

困窮度による大きな差や傾向は見られなかった。いずれも「17.17 kg~18.62 kg」「18.63 kg~20.36 kg」が多くなっている。

困窮度別に見た、現在の体重(問13-2) <女子>

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

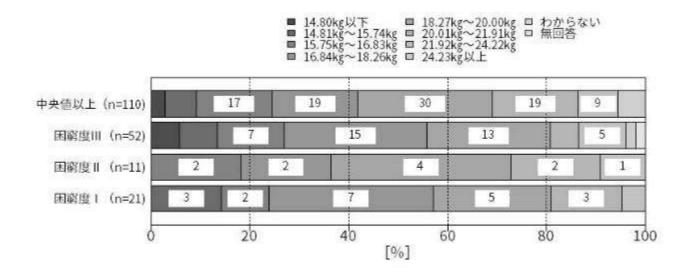
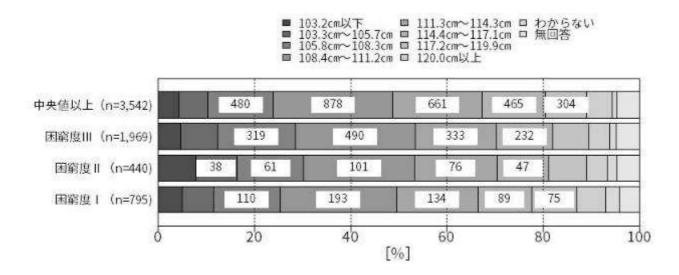


図 128. 困窮度別に見た、現在の体重<女子>

困窮度による大きな差や傾向は見られなかった。いずれも「16.84 kg~18.26 kg」「18.27 kg~20.00 kg」が多くなっている。

困窮度別に見た、現在の身長(問14-1) <男子>

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

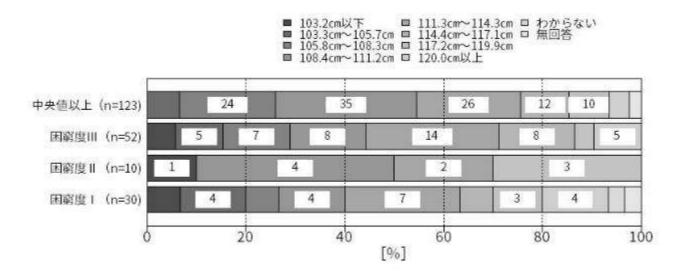
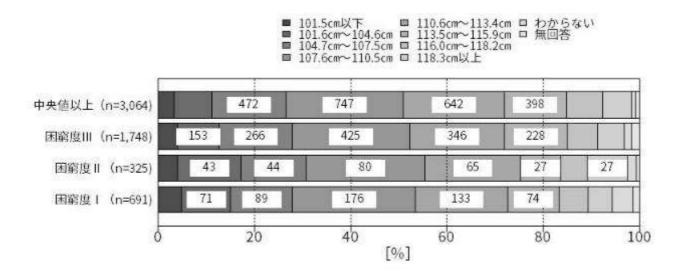


図 129. 困窮度別に見た、現在の身長<男子>

困窮度による大きな差や傾向は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の身長(問14-2) <女子>

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

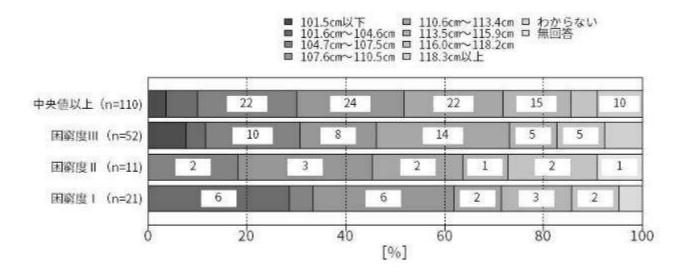
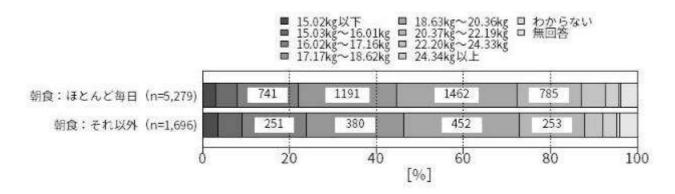


図 130. 困窮度別に見た、現在の身長<女子>

困窮度による大きな差や傾向は見られなかった。

朝食の頻度別に見た、現在の体重(問17×問13-1)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

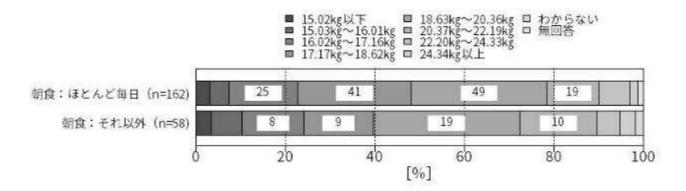
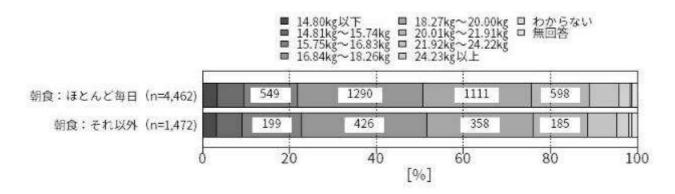


図 131. 朝食の頻度別に見た、現在の体重

朝食をほとんど毎日食べる男子では、「17.17 kg~18.62 kg」「18.63 kg~20.36 kg」が多かった。 毎日食べるわけではない男子では、「17.17 kg~18.62 kg」は少なく「18.63 kg~20.36 kg」が多かった。

朝食の頻度別に見た、現在の体重(問17×問13-2)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

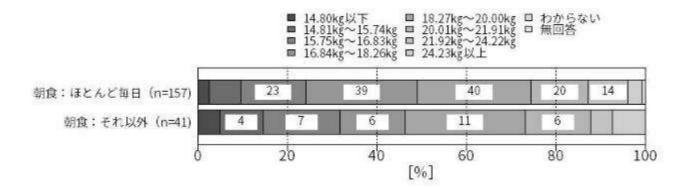
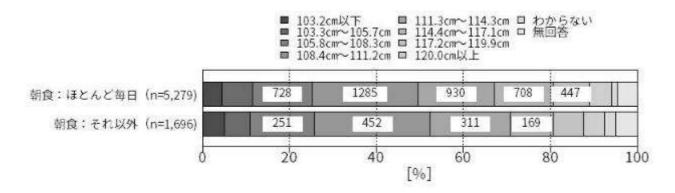


図 132. 朝食の頻度別に見た、現在の体重

朝食をほとんど毎日食べる女子では、「 $16.84 \text{ kg} \sim 18.26 \text{ kg}$ 」「 $18.27 \text{ kg} \sim 20.00 \text{ kg}$ 」が多かった。 毎日食べるわけではない女子では、「 $16.84 \text{ kg} \sim 18.26 \text{ kg}$ 」は少なく「 $18.27 \text{ kg} \sim 20.00 \text{ kg}$ 」が多かった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長(問 17×問 14-1)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

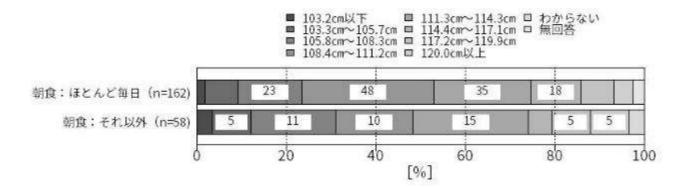
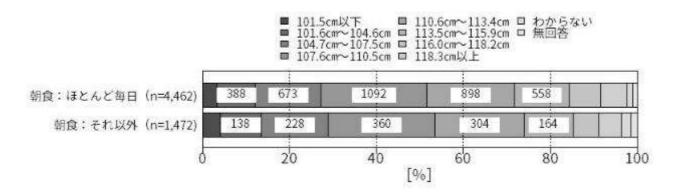


図 133. 朝食の頻度別に見た、現在の身長

ほとんど毎日食べる群では「108.4 cm~111.2 cm」が多く、それ以外群では「111.3 cm~114.3 cm」が多かった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長(問 17×問 14-2)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

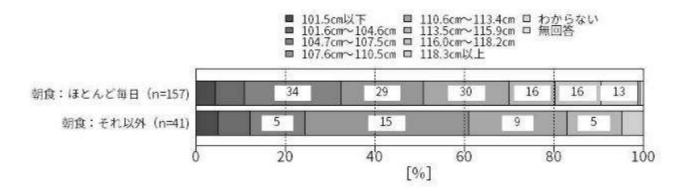
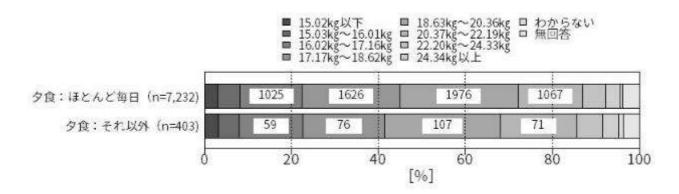


図 134. 朝食の頻度別に見た、現在の身長

ほとんど毎日食べる群では「 $104.7 \text{ cm} \sim 107.5 \text{ cm}$ 」が多く、それ以外群では「 $107.6 \text{ cm} \sim 110.5 \text{ cm}$ 」が多かった。

夕食の頻度別に見た、現在の体重(問 20×問 13-1)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

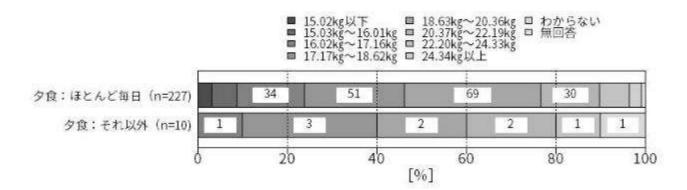
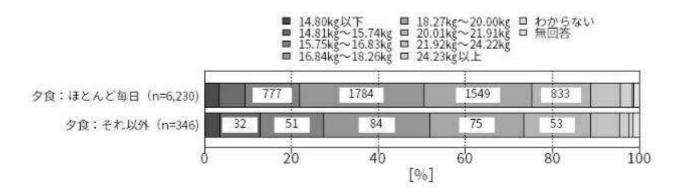


図 135. 夕食の頻度別に見た、現在の体重

夕食をほとんど毎日食べない男子は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の体重(問20×問13-2)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

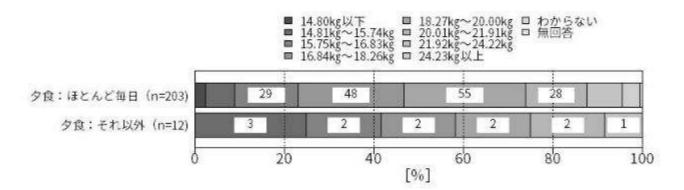
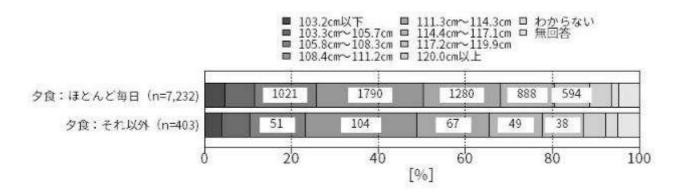


図 136. 夕食の頻度別に見た、現在の体重

夕食をほとんど毎日食べない女子は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の身長(問 20×問 14-1)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

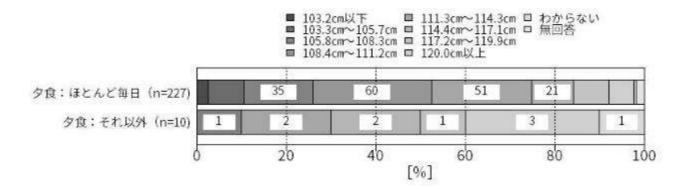
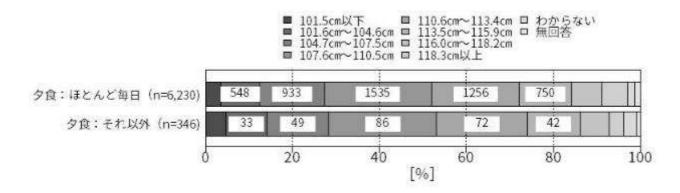


図 137. 夕食の頻度別に見た、現在の身長

夕食をほとんど毎日食べない男子は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の身長(問 20×問 14-2)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

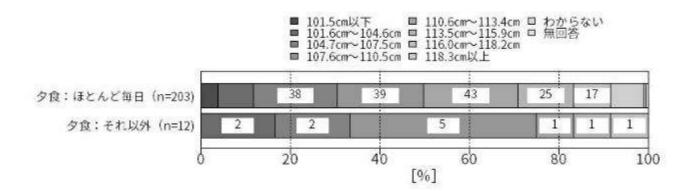
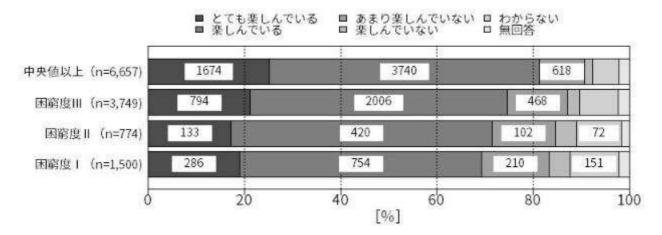


図 138. 夕食の頻度別に見た、現在の身長

夕食をほとんど毎日食べない女子は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、心の状態(1)生活を楽しんでいる(問36-1)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

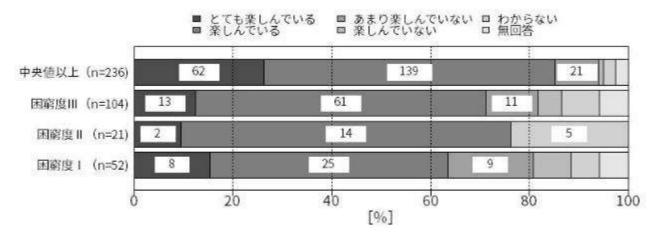
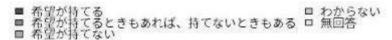


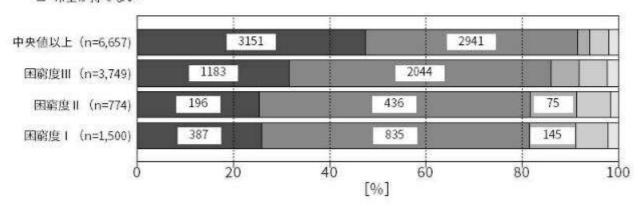
図 139. 困窮度別に見た、心の状態(1)生活を楽しんでいる

困窮度が厳しくなるにしたがって、「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」をあわせた割合が低くなる傾向にあり、困窮度 I 群においては 63.5%であった。

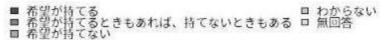
困窮度別に見た、心の状態(2)将来への希望(問36-2)

<大阪市 24 区>





<大阪市北区>



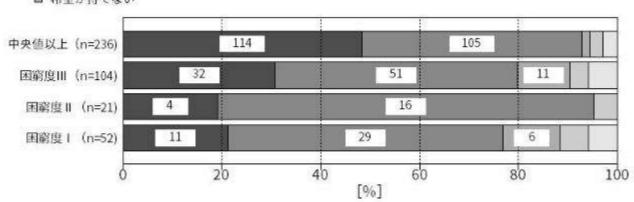
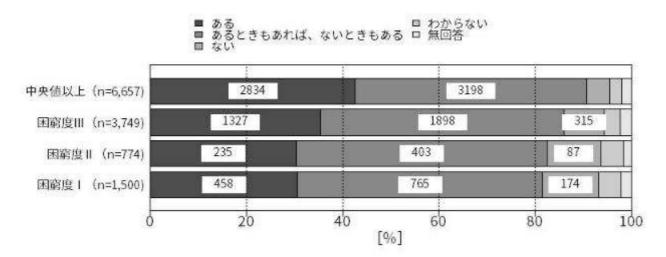


図 140. 困窮度別に見た、心の状態(2) 将来への希望

困窮度が厳しくなるにしたがって、「希望が持てる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度 I 群においては 21.2% であった。

困窮度別に見た、心の状態(3)ストレス発散できるもの(問36-3)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

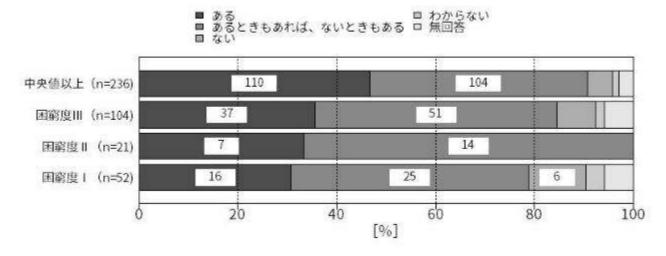
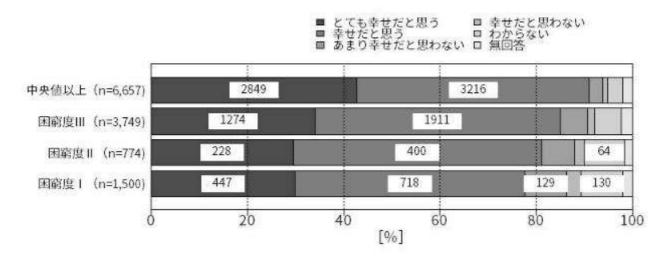


図 141. 困窮度別に見た、心の状態 (3) ストレス発散できるもの

困窮度が厳しくなるにしたがって、ストレス発散できるものが「ない」と回答した割合が高くなる傾向にあり、困窮度 I 群においては 11.5%であった。

困窮度別に見た、心の状態(4)幸せだと思う(問36-4)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

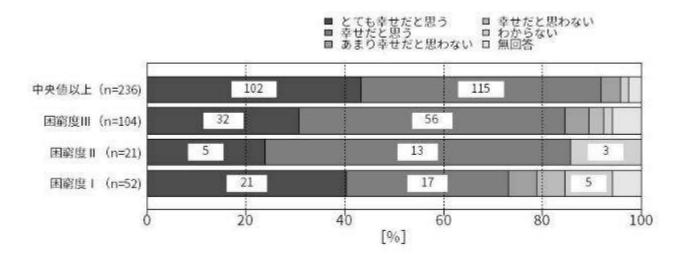
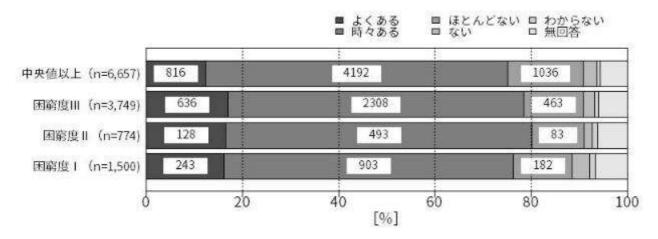


図 142. 困窮度別に見た、心の状態(4)幸せだと思う

困窮度が厳しくなるにしたがって、「とても幸せだと思う」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅱ群においては23.8、困窮度Ⅰ群では40.4%であった。

困窮度別に見た、不安やイライラなどを子どもに向けることの頻度(問38)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

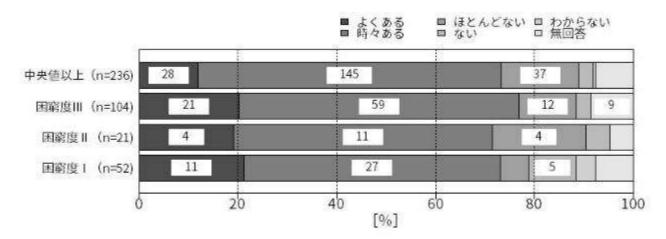


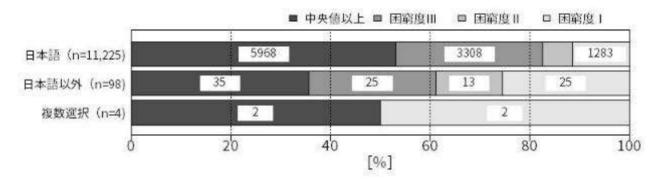
図 143. 困窮度別に見た、不安やイライラなどを子どもに向けることの頻度

中央値以上群に比べ他の群では、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことが「よくある」と回答した割合が高くなる傾向にあった。中央値以上群では 11.9%、困窮度 I 群では 21.2%であった。

3-4. 家庭生活•学習

母国語別に見た困窮度分類(問2)

<大阪市 24 区>



<大阪市北区>

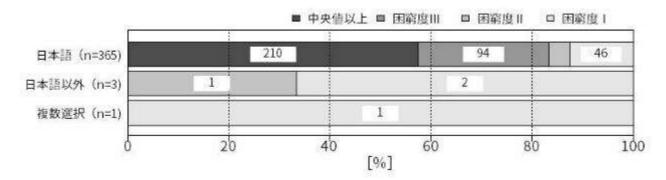


図 144. 母国語別に見た困窮度分類

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。